



大原中だより

校 訓 「歴史を拓く」
学校教育目標 はつらつとした生徒、地域に輝く学校

メールアドレス：ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ：https://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

さいたま市立大原中学校

TEL 048-831-5397

FAX 048-835-1357

第 7 号

令和 4 年 1 月 1 日

自己省察 ～ 一人ひとりの進化・前進に向けて ～

校 長 岡村 洋彦

木々の紅葉、落葉が、秋の深まりを感じさせるだけでなく、立冬も間近となり、朝夕の冷え込みが一段と身にしみる季節となつてまいりました。そのような中、子どもたちは学校生活でたくさんの輝きを見せています。「市新人体育大会」、「市中学校駅伝競走大会」、「校内合唱コンクール」、「定期テスト」など様々な場面で生徒一人ひとりの一生懸命な姿をみることができます。

明日からは三者面談が始まります。保護者の皆様には御多用中、実施に御協力いただき誠にありがとうございます。面談では学習面や生活面、学校行事への取組などお子様の学校生活の様子が話し合われることと思います。また、3年生は中学校卒業後の進路の話し合いも予定されています。節目、節目に自分の取組を省みることはとても大切なことで自分の成長のためには不可欠です。

ところで、一般的に振り返る際に、「反省する」といいますが、反省というのは自分のよくなかった点（ネガティブな観点）を認めて改めようと考えことです。これはこれで非常に大切なことですが、生徒に意識してほしいのは、できなかったことや失敗したことだけを振り返るマイナス評価だけではなく、良かった点やうまくいった点のプラス評価（ポジティブな観点）、可能性に気づく機会をもってほしいということです。こうしたプラス評価を含めた振り返りを省察（せいさつ）といいますが、プラス評価を行うためには、何事にも意欲をもって主体的に取り組むことが大事とされています。面倒がつてやった取組や、いやいや引き受けた取組を振り返っても、そこからは自分のよさや可能性を見出すことは難しいものですが、逆に自分から進んで引き受けた取組については、たとえ失敗してもその経験は大きな糧となるものです。「やりたくない」「大変だから嫌だ」「面倒くさい」「誰か好きな人がやればよい」と考えるのではなく、気持ちを切り替えて「まずやってみよう」と考え、主体的に取り組むことが、さらに自分の能力や可能性やスキルを伸ばすことにつながると思います。意欲をもって主体的に取り組めば、結果に関係なく何か大切なことを学ぶことができます。主体的に取り組む、自己省察を行うことが“進化・前進への秘訣”につながるのではないのでしょうか。

今年も残すところ2ヶ月となりました。今後も大原中学校の学校教育目標である「はつらつとした生徒、地域に輝く学校」の具現化を目指し、教職員一同邁進してまいりますので、御支援、御協力をお願いいたします。

